

令和7年度 園経営計画 足立区立中央本町保育園

園長 中山 清子

1 園の経営目標

- (1) 子どもの人権を尊重し、人との関わりを広げながら様々な体験や心動かす経験を通して、丈夫な身体、創造力、豊かな感性を育む保育園
- (2) 職員が幼児教育者として高い理想をもち、学び合い専門性を高め合う保育園
- (3) 保護者や地域の子育て支援の拠点として、子どもの成長を地域と共に育む保育園

2 園の現状

- (1) 子どもたちは、年間を通じて朝から多くの時間を園庭や隣の公園などで過ごし、好きな遊びを見つけて夢中になって遊んでいる。特に園庭では、自由に探索活動を楽しむ姿や異年齢と関わる中で、年上の子への憧れや小さい子への思いやりの気持ちが育まれている。
- (2) 保育者は子どもの最善の利益と人権を大切にして、一人一人のありのままの姿を丁寧に受け止め教育・保育を実践していくよう努めている。
- (3) 近隣の保育園の園児や保育者との交流を積極的に行っている。
- (4) 一時保育の利用が多く、安全に留意しながら地域支援の充実を図っている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	子どもが主体的に関わり、自己発揮できる環境を作る。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもの発達や興味・関心を捉えた遊びの環境を整える。	ア プロジェクトを中心に子どもの興味・関心に合った園庭や室内環境について年4回以上話し合い、子どもが主体的に遊べる環境を構成していく。
(2) 多様な運動遊びができる環境を作る。	ア 幼児期に習得したい36の動きを意識して、「面白い」「やってみたい」と感じられる環境を作る。
(3) 音楽に親しみ、音を奏でる楽しさが味わえるようにする。	ア 保育者と一緒に歌ったり、楽器を奏でたりして自由に表現することの楽しさを味わえる環境を作る。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	多様性を尊重する保育を推進する。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 職員の人権意識を高める。	ア 保育者は、肯定的な言葉がけや関わりを通して、目の前の子どもの権利を尊重していく。 イ 人権意識やインクルーシブ保育について、研修や実践事例からの学びを共有し、共通認識を図り、関わっていく。
(2) 多様性を認めあえる保育を進める。	ア 一人一人の違いや良さを認め合い、尊重できるように園内の物的環境や人的環境を整備して、特性や発達に応じた援助していく
重点的に取り組んでいきたい事項－3	子ども理解を深め、保育の質を高める。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 保育者同士が互いに高め合える職場風土を作る。	ア 月1回以上保育中のエピソードをもとに保育を語り合い、子ども理解を深める。 イ 互いに学び合う姿勢をもつ職場風土を定着させる。